

上越市総合教育プラン

---

## 第2期 実施計画

平成23年度～平成25年度

上越市教育委員会

## 基本計画 1 学ぶ意欲と確かな学力の定着を促す学習指導の改善

### 施策 1 「基礎・基本の定着と自ら学ぶ力の育成を図るカリキュラムの構築」

#### 目標

学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、自ら学び考え表現する力を育むために、各々の学校がもつ課題や求められている今日的要請を総合的にふまえたカリキュラムの構築を推進します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校課題解決や特色ある教育を推進するために視覚的カリキュラム表を改善しながら作成し実践する。 (22 年度実績 100%)	全ての学校で実践する。	全ての学校で実践する。	全ての学校で実践する。
全国標準学力テスト (NRT) の国語・算数 (数学)・英語の基礎的・基本的な内容について各教科・各学年の成績が全国平均を上回る。 (22 年度数値なし 新規)	90%以上の小学校、40%以上の中学校が全国平均を上回る。	90%以上の小学校、50%以上の中学校が全国平均を上回る。	90%以上の小学校、60%以上の中学校が全国平均を上回る。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育研究事業 (学校教育課・教育センター)

教職員の授業力の向上を図るために、職種・課題別研修、授業力向上研修、学校力向上研修など、研修の充実を図る。

- ・指導主事訪問 (学校教育課)

「上越市学校教育実践上の重点」に基づき、授業改善、指導力向上に向けた校内研修の支援を行う。

### 施策 2 「学習意欲を高める指導力向上研修の推進」

#### 目標

目当てや目的をもって学ぶことは学習意欲を高め、学ぶことの喜びと楽しさを感じることにつながります。このことは継続して学ぶことの原動力になります。学習の意義や内発的な興味・関心に着目した学習指導のあり方をみがきあう研修を行います。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
学習への興味・関心を高める指導や課題を工夫し、「授業が分かる・楽しい」と答える児童生徒を 80%以上にする。 (22 年度実績 76% 57 校)	評価内容の学校を 80% (61 校) 以上にする。	評価内容の学校を 80% (61 校) 以上にする。	評価内容の学校を 80% (61 校) 以上にする。

新学習指導要領の全面実施を受け、各学校では校内研修等をとおして授業改善を図り、児童生徒が「分かる・楽しい」授業となるように継続して努める。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育研究事業 (学校教育課・教育センター)

教職員の授業力の向上を図るために、職種・課題別研修、授業力向上研修、学校力向上研修など、研修の充実を図るとともに、指導主事の学校訪問をとおして具体的な場面で支援する。

### 施策3「思考力や表現力を育成するための学習指導の見直しの推進」

#### 目標

ますます進展していく情報化社会にあって、能動的に生きていくためには「知識」を関係付けしていく思考力や自己の思いや考えを伝える表現力が重要になります。思考力や表現力を育む学びの場を教育活動全体の中で重視していくことを促します。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
全国学力状況調査において、思考力や表現力の内容についての得点が全国平均点を上回る教科数(国語・算数(数学))を70%以上にする。 (22年度全国学力状況調査実績 58%)	上回る教科数を60%以上にする。	上回る教科数を70%以上にする。	上回る教科数を70%以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課)

授業改善支援訪問を通し、授業改善、指導力向上に向けた校内研修の支援を行う。

### 施策4「学習習慣の形成のための啓発の推進」

#### 目標

学習意欲をもち、主体的な学びを生み出すためには、学習習慣の形成が大切です。学習習慣を形成する学習指導や家庭学習のあり方についての啓発を推進します。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
家庭との連携を図り、毎日家庭学習をする児童生徒を80%以上にする。 (22年度全国学力状況調査実績 小55.4%、中52.2%)	評価内容の学校を60%(46校)以上にする。	評価内容の学校を70%(54校)以上にする。	評価内容の学校を80%(61校)以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課)

「上越市学校教育実践上の重点」に基づき、中学校区内での共通理解のもと全校体制で進める学習習慣育成の取組について支援する。

- ・青少年教育活動事業(生涯学習推進課)

学校や家庭における生活習慣や学習習慣を形成するとともに、保護者が自身の教育へのかかわり方について考える機会とする。

## 施策5「読書活動の推進」

### 目標

読書は人間の思考力を養う上できわめて大切です。主体的に学び取る力や思索する力、豊かな表現力を育てます。子どもたちが、読書に親しみ、読書習慣を身に付けられるよう読書活動を推進します。

### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校図書館の環境を充実させ、読書活動の機会を計画的に設定して「読書が好き」と答える児童生徒を80%以上にする。 (22年度 該当実績なし 新規)	「読書が好き」と答える児童生徒を60%以上にする。	「読書が好き」と答える児童生徒を70%以上にする。	「読書が好き」と答える児童生徒を80%以上にする。

### 目標を達成するための事業等

- ・学校図書館整備充実事業（学校教育課）  
学校図書館補助員を配置し、研修により資質の向上を図る。また、学校図書館担当教諭の研修を行う。
- ・小学校教材費（教育総務課）  
学校図書を計画的に購入する。
- ・中学校教材費（教育総務課）  
学校図書を計画的に購入する。
- ・地域青少年育成会議協議会（青少年健全育成センター）  
学校図書館ボランティアを充実する。

## 基本計画2 思いやりに満ちた豊かな心の育成のための活動の推進

施策1「人間尊重の精神に即したたくましく生きる力を育成する活動の推進」

目標

人と人とのふれあいや生活体験の中から命の大切さや思いやる心、善悪の判断などの規範意識や公共心などがはぐくまれています。このような学びの場の確保を進めます。

成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自校の道德教育の課題を明確にし、規範意識、命を大切に育てる心を育てる指導を充実することができたと評価する学校を100%にする。(「上越市学校教育実践上の重点」の年度末評価における4段階評定) (22年度実績 96% 73校)	肯定的評価の学校を100%にする。	肯定的評価の学校を100%にする。	肯定的評価の学校を100%にする。

上越市の学校教育における重要課題であることから、すべての学校が工夫した取組を継続する。

目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課)  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づいた学校訪問指導を行う。
- ・小・中学校改善支援事業(学校教育課)  
豊かな心の育成等に向け、提案企画書に基づく学校課題解決や特色ある教育活動を支援する。

施策2「あいさつや言葉遣いなど「ことば」を大切にしたい学校生活の実現」

目標

「ことば」には自然に気持ちや態度が現れてきます。「ことば」を大切にすることでよい人間関係を築き、相手を尊重する心を育てることができます。「ことば」の大切さについてあらゆる学校生活の場面で指導を進めます。

成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
体験活動との関連付け、魅力ある資料作り、話し合い活動など道德性を高める心に響く授業の充実することができたと評価する学校を95%以上にする。(「上越市学校教育実践上の重点」の年度末評価における4段階評定) (22年度実績 95% 72校)	できたと評価する学校を95%(72校)以上にする。	できたと評価する学校を95%(72校)以上にする。	できたと評価する学校を95%(72校)以上にする。

目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課)  
体験活動と関連付けた、道德性を高める心に響く授業の充実を図るために学校訪問指導を行う。
- ・地域青少年育成会議協議会(青少年健全育成センター)  
全市的なあいさつ運動の展開を進める。

### 施策3「いじめを許さない、見逃さない正義感のある子どもの育成と人権教育の徹底」

#### 目標

他人の心の痛みを感じ取れるとともにいじめや差別をしないという気持ちを一人一人の心の中に育てていきます。「いじめ防止学習プログラム」や「人権教育、同和教育に関する指導計画」の点検と確実な実践を促します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
児童生徒のいじめ、不登校等の予防のための取組を中学校区単位で行う。 (22 年度実績 100%)	すべての中学校区で実施する。	すべての中学校区で実施する。	すべての中学校区で実施する。

児童生徒の実態に基づき、予防のための取組の質を高めながら改善に努める。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課)  
人権教育、同和教育に関する指導計画の点検・改善が図られるよう学校訪問指導を行う。
- ・学校への重点説明(生涯学習推進課)  
白山会館での学校教職員等を対象とした人権・同和教育の現地学習会を開催する。
- ・指定事業(学校教育課)  
指定事業を通して、同和教育への理解を深める。

### 施策4「自らの存在や行動に自信と誇りがもてる子どもの育成のための教育相談体制の整備」

#### 目標

いじめや不登校に悩む子どもたちに寄り添い、自己肯定感や存在感を高めることで、よりよく生きていこうとする自信と誇りをもった子どもを育てていきます。このための相談体制の整備を進めていきます。

#### 成果指標

評内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
生徒指導上の諸問題の発生数を減らし、解消率を高める。 (22 年度実績 解消率 80%)	解消率が前年度より向上する。	解消率が前年度より向上する。	解消率が前年度より向上する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育相談等の事業(教育センター)  
学校訪問カウンセラーによる教育相談、電話相談及びカウンセリング研修会を実施するほか、不登校児童生徒適応指導教室を開催する。また、「じょうえつあんしんサポートチーム(JAST)」を活用し、生徒指導上の問題解決を支援する。

### 基本計画3 健やかな身体を育成する環境の整備

#### 施策1「家庭や地域と連携した生活習慣の改善と健康づくりの推進」

##### 目標

調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養や睡眠をとることは、子どもたちの健やかな身体づくりの基本です。子どもたちが自らの健康に関心をもち、健やかな身体づくりに取り組めるように家庭や地域と連携して生活習慣の改善を推進していきます。

##### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
上越市学校教育実践上の重点の評価において、健康課題を明確にし、校内組織を活用して、望ましい生活習慣を維持するよう計画的に指導できたと肯定的に回答する学校を90%以上にする。 (22年度 該当実績なし 新規)	肯定的に回答する学校を80%(61校)以上にする。	肯定的に回答する学校を85%(65校)以上にする。	肯定的に回答する学校を90%(68校)以上にする。
上越市学校教育実践上の重点の評価において、すべての学校で健康課題を解決するため、家庭、地域、専門機関と連携した学校(地域)保健委員会の取組を工夫したと肯定的に回答する。(22年度実績 100%)	すべての学校で評価内容を達成する。	すべての学校で評価内容を達成する。	すべての学校で評価内容を達成する。

学校保健委員会では児童生徒の健康課題に基づき、関係機関等と連携しながら工夫した取組を継続し、地域と一体となった健康教育を推進する。

##### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課・健康づくり推進課)  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づき、学校と家庭、地域が連携して、児童生徒の望ましい生活習慣が育まれるように支援する。
- ・学校保健管理費(学校教育課・教育総務課)  
幼児、児童、生徒並びに教職員の健康の保持増進を図るとともに、安全で快適な学校環境を整備する。
- ・健康教育推進事業(学校教育課・健康づくり推進課)  
望ましい生活習慣を身に付けるための指導資料の作成や方策を検討する。
- ・歯科保健事業(学校教育課)  
フッ素洗口の実施とむし歯・歯肉炎予防のために歯科衛生士を派遣する。
- ・学校給食事業(教育総務課)  
栄養バランスのとれた安全安心な学校給食を提供する。

#### 施策2「体力づくりの推進」

##### 目標

運動に親しむ機会を増やし、運動する喜びを味わうことで体力づくりができるように推進していきます。また、生涯を通じて楽しめるスポーツと出会える機会を創出していきます。

##### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
体力テストにおいて、県平均より優れている種目の割合が小学校男子で50%以上(22年度38%)、小学校女子で55%以上(22年度44%)、中学校男子で35%以上(22年度25%)、中学校女子で40%以上(22年度29%)にする。 (全国平均との比較では、21年度実績で、小学校男子では77%、女子では73%の種目が上回っており、中学校男子では54%、女子では42%の種目が上回っている。そこで、県平均との比較で評価する。)	小学校男子で40%以上、小学校女子で45%以上、中学校男子で30%以上、中学校女子で30%以上にする。	小学校男子で45%以上、小学校女子で50%以上、中学校男子で35%以上、中学校女子で35%以上にする。	小学校男子で50%以上、小学校女子で55%以上、中学校男子で35%以上、中学校女子で40%以上にする。

##### 目標を達成するための事業等

- ・体力向上推進事業(学校教育課)  
体力テストの結果を分析し、自校の児童生徒の課題を明確にするとともに、「1学校1取組運動」を学校の実態に応じて効果的に取り入れる工夫をする。
- ・地域スポーツクラブ育成事業(体育課)  
小・中学校の体育授業や部活、地域に専門的知識を有する指導者を派遣し、スポーツ活動をサポートする。

### 施策3「食育の推進」

#### 目標

自らの健康に関心をもち、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるように「食育」を推進します。「上越市食育推進計画」と連結して推進していきます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年
上越市学校教育実践上の重点の評価において、すべての学校で食育全体計画や指導計画に基づき、家庭や地域と連携し、学校教育全体で食育を推進したと回答する。 (22 年度実績 92.6% 70 校)	食育を推進したと回答する学校を 95%(72 校)以上にする。	すべての学校で食育を推進したと回答する。	すべての学校で食育を推進したと回答する。
小学 6 年生と中学 3 年生において、「朝食を食べて登校した」と回答する児童生徒の割合を 100%にする。 (全国学力調査の抽出調査を参考にする) (22 年度実績 小学生 98.5%、中学生 95.8%)	児童生徒の割合を 100%にする。	児童生徒の割合を 100%にする。	児童生徒の割合を 100%にする。
すべての小学校で野菜や米づくりなどの農業体験を実施する。 (22 年度実績 100%)	すべての小学校で実施する。	すべての小学校で実施する。	すべての小学校で実施する。

朝食欠食の原因となる個別の課題等を解決するよう働きかけながら、すべての児童生徒が朝食を食べて登校することを目指す。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問（学校教育課）  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づき、学校と家庭、地域が連携して、児童生徒の望ましい食習慣がはぐくまれるように支援する。
- ・健康教育推進事業（学校教育課・健康づくり推進課）  
望ましい食習慣を身に付けるための指導資料の作成や方策を検討する。
- ・学校給食の実施（教育総務課）  
安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに、地域食材や郷土の特色などの理解を深める機会とする。
- ・青少年教育活動事業（生涯学習推進課）  
郷土料理や地場産物の栽培方法を取り上げた内容を、分野別に謙信 KIDS スクールプロジェクトの中で実施する。



## 基本計画 4 夢・希望・未来につなぐ教育の推進

### 施策 1 「コミュニケーションを大切にした ICT 教育の推進」

#### 目標

インターネットや情報機器を活用することで学ぶ意欲を喚起し、情報を主体的に活用する情報活用能力を向上させます。人と人とを結ぶためのコミュニケーションの道具として ICT の活用を考えるとともに、情報モラルの向上を図っていきます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
子どもの ICT 活用と情報モラルを指導できる教職員（文部科学省による、教職員の ICT 活用指導力）が 80% 以上いる学校を 90% (69 校) 以上にする。 (22 年実績 24 校)	評価内容を達成した学校を 50% (38 校) 以上にする。	評価内容を達成した学校を 70% (53 校) 以上にする。	評価内容を達成した学校を 90% (69 校) 以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問（学校教育課）  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づいた学校教育の推進を支援する学校訪問指導を行う。
- ・情報教育の充実（学校教育課）  
情報教育の充実を図るとともに、そのための環境として児童生徒が利活用する教育用コンピュータと教育ネットワークを維持する。
- ・ICT の有効活用（学校教育課）  
小・中学校の教職員用に校務用コンピュータ等を整備し、教育活動における有効活用と校務の効率化を図る。
- ・学習指導支援（学校教育課）  
学習情報指導員の学校訪問によって、授業や職員研修の支援を実施する。

### 施策 2 「国際化に対応した教育の推進」

#### 目標

広い視野をもち、異文化を理解し積極的に交流を図ろうとする態度を育てるとともに、日本や外国の文化・歴史に対する理解を深めるための機会を設けます。また、日本語を母語としない児童・生徒に対し日本語指導や学習指導を行い、学校生活や授業に早期に適應できるよう支援します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
外国籍・帰国児童生徒がいる学校において日本語支援をする時間を週 2 日以上設定している学校の割合を 95% 以上にする。 (22 年度実績 86%)	評価内容どおり支援できている学校の割合を 90% 以上にする。	評価内容どおり支援できている学校の割合を 95% 以上にする。	評価内容どおり支援できている学校の割合を 95% 以上にする。
各学校で「言語や外国の文化への興味・関心度」、「コミュニケーションへの積極性」などを高める体験的な活動を実施する。(22 年度実績 49 校)	実施した学校の数 53 校以上にする。	実施した学校の数 61 校以上にする。	すべての学校が実施する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・日本語支援事業（学校教育課）  
日本語指導を通し、外国籍・帰国児童生徒の早期適應に向けた支援を行う。
- ・外国語指導助手による語学指導事業（学校教育課）  
外国語指導助手による英語指導を通し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度とコミュニケーション能力の素地や基礎を養う支援を行う。

### 施策3「地球環境を積極的に守ろうとする教育の推進」

#### 目標

身近な自然環境や地球環境問題に対して常に問題意識をもち、積極的に環境保全に取り組む姿勢や実践的な態度を育む学習の充実を促します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年	平成 24 年度	平成 25 年度
上越市学校教育実践上の重点の年度末評価において、環境にかかわる具体的な活動を通して、環境問題に対する意識を高め、環境保全や省エネルギーにかかわる実践力を育んだとする学校（4段階評定で3段階以上の評価をした学校）を90%（69校）以上にする。 (22年度実績 83% 63校)	評定が3段階以上の学校数を85%(65校)以上にする。	評定が3段階以上の学校数を90%(69校)以上にする。	評定が3段階以上の学校数を90%(69校)以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・小・中学校学校改善支援事業（学校教育課）  
環境教育を推進する提案企画書に基づく学校課題解決に向けた取組を支援する。
- ・環境学習推進（学校教育課）  
環境学習を推進する外部団体の事業を学校に積極的に紹介する。
- ・青少年教育活動事業（生涯学習推進課）  
自然体験活動を通じ自然環境問題の学習と理解を謙信 KIDS スクールプロジェクトの中で実施する。

### 施策4「未来を自分の力で切り開く教育の推進」

#### 目標

様々な社会変化に対応し、自らの力で将来を切り開いていくことのできる態度や能力を育むための教育を計画的に進めます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
働くことの意義や自分の将来について明確な考えをもてる生徒が90%以上いる中学校を90%（19校）以上にする。（中学校キャリアスタートウィークのアンケートによる）（22年度実績 63.6% 14校）	評価内容を達成した中学校を80%(18校)以上にする。	評価内容を達成した中学校を90%(19校)以上にする。	評価内容を達成した中学校を90%(19校)以上にする。
キャリア教育の研修会を実施するとともに、キャリア教育を教育課程に位置づけている学校にする。 (22年度実績 84% 64校)	実施している学校を90%(69校)以上にする。	すべての学校で実施する。	すべての学校で実施する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・キャリア教育の推進（学校教育課）  
望ましい勤労観・職業観をはぐくむキャリア教育を推進する。
- ・キャリア・スタート・ウィーク推進事業（学校教育課）  
全中学校による原則5日間の職場体験を支援する。
- ・小・中学校学校改善支援事業（学校教育課）  
提案企画書に基づく学校の課題解決に向けた取組を支援する。
- ・青少年教育活動事業（生涯学習推進課）  
子どもたちの好奇心や知的探求心を高めるため謙信 KIDS スクールプロジェクトを実施する。

## 施策5「幼児期における教育の推進」

### 目標

親や家族の深い愛情によって育てられる子どもの環境を大切に、幼児期における道徳性や生活習慣、創造的な思考や感性、体力などの発達を豊かな学びの中で行えるよう推進していきます。

### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市立幼稚園の保護者アンケートで、よりよい環境の中、個に応じた指導が充実し信頼できるとの評価を70%以上にする。(4段階評定で4段階の評価の割合) (22年度実績 66%)	4段階の評価を70%以上にする。	4段階の評価を70%以上にする。	4段階の評価を70%以上にする。

保護者の信頼を得られるように、常に教育の質を保障していく。

### 目標を達成するための事業等

- ・ 幼稚園運営事業（教育総務課）  
幼稚園環境を整備する。
- ・ 幼稚園運営事業（教育総務課）  
幼児期における道徳性や習慣、体力向上などを支援する。
- ・ 私立幼稚園教育振興事業（学校教育課）  
運営費、就園奨励費等補助金を交付し、保護者の負担軽減と私立幼稚園の運営を支援する。

## 基本計画5 自立と共生を目指す特別支援教育の推進

施策1「学習障害（LD）や注意欠陥／多動性障害（AD／HD）、高機能自閉症の子どもたちと保護者の立場に立った特別支援教育の推進」

### 目標

特別な支援を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、自立と社会参加への主体的な取組を目指した教育的支援が必要です。

小・中学校における特別支援教育の校内体制づくりを進めるとともに、様々な理由で支援を必要とする子どもとその保護者に対して支援する体制を整えます。

### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校全体で一人一人の教育的ニーズを共通理解し、個別の指導計画を作成し、実践した学校を100%にする。 (22年度 個別の指導計画を作成した学校 89% 68校)	指導計画を作成し、実践した学校を90%(69校)以上にする。	すべての学校で指導計画を作成し、実践する。	すべての学校で指導計画を作成し、実践する。

### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問（学校教育課）  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づいた学校訪問指導を通し、授業改善、指導力向上に向けた支援を行う。
- ・小学校・中学校学習指導支援事業（学校教育課）  
教育補助員、介護員を配置し、特別な支援を要する児童生徒への支援体制の整備を図り、きめ細かい教育を推進する。
- ・小学校教育指導・研究（学校教育課・こども課・保育課）  
各学校が、就学相談を通し、幼児児童生徒の実態を把握し、保護者と連携を取りながら、適切な対応を実施できるよう支援する。

施策2「発達障害がある子どもへの支援体制の充実」

### 目標

学習障害や注意欠陥／多動性障害、高機能自閉症等の子どもたちの早期発見と、一人一人のニーズに応じた適切な教育的支援を進めるための学校の支援体制や教職員の研修体制を充実させます。

### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
すべての学校で、特別な支援を要する児童生徒の実態を把握し、効果的な指導方法を検討する校内委員会を定期的開催する。 (22年度 校内委員会を開催した学校 89% 68校)	校内委員会を定期的開催した学校を90%(69校)以上にする。	すべての学校で校内委員会を定期的開催する。	すべての学校で校内委員会を定期的開催する。

### 目標を達成するための事業等

- ・小学校・中学校学習指導支援事業（学校教育課）  
通常の学級において特別な支援を要する児童生徒の実態調査を実施し、発達障害を有する子どもたちの早期発見に努める。
- ・小学校・中学校学習指導支援事業（学校教育課）  
巡回相談を実施し、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への支援体制の整備を図り、きめ細かい教育を推進する。
- ・小学校・中学校学習指導支援事業（学校教育課）  
校内委員会において、発達障害を有する児童生徒の実態や具体的な対応方略を検討する。そして、校内委員会そのものが研修の場となるよう支援する。

### 施策3「共に学びあう体制の推進」

#### 目標

さまざまな障害のある子どもたちが学校や地域社会の中で受け入れられ、相互に理解を深めていける統合教育を推進します。そして、障害のある、なしに限らず、すべての子どもたちが一人一人のニーズに応じて学びあうインクルージョン\*を目指します。

\* 健常者と障害者の区別をもとりはらった「万人のための教育」

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
すべての学校で、幼保・小・中学校が連携した支援体制のもと、関係機関等と支援方を共有し、実践する。 (22 年度実績 93% 71 校)	すべての学校で実践する。	すべての学校で実践する。	すべての学校で実践する。

すべての児童生徒の特性に応じた個別の支援計画を作成するとともに、支援の成果等に基づき改善を図り、学校間や学年間の連携を確実にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・小・中学校学校改善支援事業（学校教育課）  
提案企画書に基づく学校課題解決に向けた取組を支援する。
- ・小学校教育指導・研究（学校教育課）  
幼稚園、保育園、小・中学校において子どもの実態、対応方略等に関し共有化に向けた取組を支援する。
- ・小学校教育指導・研究（学校教育課）  
保護者、幼稚園、保育園、小・中学校を対象とした研修会を企画運営し、研修会を通して、「障害を有する児童生徒の特性」についての理解を深める取組を支援する。

## 基本計画6 互いに認めあい共に生きる社会を目指す教育の推進

### 施策1「人権・同和教育の推進」

#### 目標

あらゆる差別解消のため、人権意識の啓発を進め、さまざまな機会や場面を通じて人権・同和教育を推進します。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校教職員等を対象とした現地学習会をすべての学校で実施する。 (22年度実績 91% 69校)	すべての学校で実施する。	すべての学校で実施する。	すべての学校で実施する。
3年間で、すべての小学校区で人権を考える講話会を開催する。 (22年度実績 18小学校区で実施)	18小学校区で実施する。	18小学校区で実施する。	18小学校区で実施する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問（学校教育課）  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づいた学校訪問指導を行う。
- ・小学校教育指導、研究費（学校教育課）  
中学校区単位に研究指定地区を指定し、同和教育の実践研究を深め、その成果を共有する。
- ・社会同和教育活動事業（生涯学習推進課）  
白山会館において学校教職員等を対象とした人権・同和教育の現地学習会を開催する。
- ・社会同和教育活動事業（生涯学習推進課）  
市内全小学校区で人権に関する講話会を開催する。（3か年計画）  
同和教育活動を積極的に推進するため出前講座を実施する。

### 施策2「男女平等の正しい意識づくり」

#### 目標

「上越市男女共同参画基本条例」に基づき、男女が、社会の対等な構成員として、個性と能力を発揮し、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画できる社会の実現を目指します。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
すべての学校で人権教育の全体計画に基づき、男女平等の意識をはぐくむ授業実践を行うとともに、保護者への啓発を図る。 (22年度実績 80% 61校)	実施した学校を85%（65校）にする。	実施した学校を90%（69校）にする。	すべての学校で実施する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・啓発活動（学校教育課）  
教職員における意識を高め、授業実践を確実にを行い、保護者への啓発を行う。

### 施策3「子どもの人権の尊重のための仕組みづくり」

#### 目標

いじめや児童虐待を学校や地域で早期発見・早期対応する組織づくりの充実に努めます。また、「上越市子どもの権利に関する条例」に基づいて子どもの人権を尊重するための取組に努めます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
校内でいじめ・虐待対策委員会を設置し、事案が発生した場合にはすべての学校が関係機関と確実に連携を図り解決を図る。 (22 年度実績 100%)	すべての学校で設置し取り組む。	すべての学校で設置し取り組む。	すべての学校で設置し取り組む。
すべての学校で子どもの権利学習を実施する。 (22 年度 該当実績なし 新規)	60% (46 校) の学校で実施する。	すべての学校で実施する。	すべての学校で実施する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・私立高等学校等教育振興事業（教育総務課）  
私立高校に通う生徒の保護者に学費助成を行う。
- ・学校への重点説明（学校教育課）  
子どもの権利学習を推進する。（学習資料の作成とプログラムの検討）
- ・小学校就学援助費補助事業（学校教育課）  
経済的理由によって、就学が困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を行う。
- ・中学校就学援助費補助事業（学校教育課）  
経済的理由によって、就学が困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行う。
- ・社会同和教育活動事業（生涯学習推進課）  
白山会館において学校教職員等を対象とした人権・同和教育の現地学習会を開催する。
- ・社会同和教育活動事業（生涯学習推進課）  
市内全小学校区で人権に関する講話会を開催する（3 か年計画）。
- ・学校問題解決支援プロジェクトチーム事業（教育センター）  
いじめ、児童虐待の問題に迅速・的確に対応し、早期解決を図るためのチームを組織して機動的な教育相談体制を整え、学校支援を強化する。

## 基本計画7 家庭と子どもの育成環境の整備

### 施策1「子育てについての側面的支援の推進」

#### 目標

公民館事業や地域活動の中から自主的な子育て支援グループができるように、情報の提供や相談をするなどの側面的な支援を積極的に行います。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年
家庭教育講座の参加者を3,500人以上とする。 (22年度実績 2,586人)	参加者を2,900人以上にする。	参加者を3,200人以上にする。	参加者を3,500人以上にする。
子育て支援に関わる他部署とも連携しながら、家庭教育に関連する講座を通して子育て支援に関わるグループを育成する。 (22年度実績 0)	グループ化した団体数を2団体にする。	グループ化した団体数を4団体にする。	グループ化した団体数を6団体にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育プラン推進事業（生涯学習推進課）  
地域版教育ハンドブックなどを作成し、地域全体で青少年の育成を図る重要性を啓発する。
- ・情報提供（生涯学習推進課）  
情報ガイドブック及び関係各課の子育て支援について広報じょうえつや市のホームページなどで紹介する。
- ・公民館事業（公民館）  
家庭教育に関する講座を開催し、自主グループの育成に努める。

### 施策2「親になる前からの家庭教育の推進」

#### 目標

小・中学生での育児体験や家庭教育を学ぶ機会を作り、親になる前からの教育を推進します。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
すべての中学校で、育児に関する講演や乳幼児と触れ合う機会（模擬体験を含む）を設ける。 (22年度に取り組んだ学校の割合 59% 13校)	すべての中学校で実施する。	すべての中学校で実施する。	すべての中学校で実施する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・命・きずなを考える講座（健康づくり推進課）  
上越市助産師会との連携により、乳児のいる市民の協力を得て、技術家庭科、保健体育、総合的な学習の時間などにおいて命の大切さを実感する体験学習を実施する。
- ・キャリア・スタート・ウィーク推進事業（学校教育課）  
職場体験の一つとして、幼児と触れ合う体験を位置づけ、親の深い愛情や養育に気付いたり、子どもは多くの人に支えられて育っていくことを学んだりする。



### 施策3「基本的生活習慣の形成の重要性についての啓発」

#### 目標

子どもが健やかに成長していく上で、年齢相応の基本的生活習慣を身に付けることが重要です。望ましい生活習慣とそれらを身に付けることの必要性についての啓発を行います。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
上越市学校教育実践上の重点の評価において、健康課題を明確にし、校内組織を活用して望ましい生活習慣が維持するよう計画的に指導できたと回答する学校を90%(69校)以上にする。 (22年度 該当実績なし 新規)	指導できたと回答する学校を80%(61校)以上にする。	指導できたと回答する学校を85%(65校)以上にする。	指導できたと回答する学校を90%(69校)以上にする。
上越市学校教育実践上の重点の評価において、すべての学校で、健康課題を解決するため家庭、地域、専門機関と連携した学校(地域)保健委員会の取組を工夫したと回答する。 (22年度実績 100%)	すべての学校で工夫したと回答する。	すべての学校で工夫したと回答する。	すべての学校で工夫したと回答する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問(学校教育課・健康づくり推進課)  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づき、学校と家庭、地域が連携して、児童生徒の望ましい生活習慣が育まれるように支援する。
- ・健康教育推進事業(学校教育課・健康づくり推進課)  
望ましい生活習慣を身に付けるための指導資料の作成や方策を検討する。
- ・歯科保健事業(学校教育課)  
フッ素洗口の実施とむし歯・歯肉炎予防のために歯科衛生士を派遣する。
- ・学校給食事業(学校教育課)  
栄養バランスのとれた安全安心な学校給食を提供する。

### 施策4「家庭・地域での子ども読書活動の推進」

#### 目標

子どもの読書活動の重要性を市民一人一人が理解し、家庭や地域のあらゆる機会に読書を行うための環境づくりを進めます。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
おはなし会やブックトークを通じ子どもの読書活動の意義や重要性について理解と関心を深めるよう啓発に努め、高田・直江津図書館における子ども・青少年向けの図書貸出冊数を増やす。 (22年度実績 240,000冊)	図書貸出冊数を243,000冊以上にする。	図書貸出冊数を246,000冊以上にする。	図書貸出冊数を249,000冊以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・読書普及・自主活動事業(高田図書館・直江津図書館)  
上越市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進する。

## 施策5「子どもの居場所づくりと子どもを支える連携組織の検討」

### 目標

子どもたちが安心して自分らしく過ごせる居場所が、身近なところにあることが大切です。各学校を基本とした居場所づくりを進め、子どもたちを育てる体制づくりとして、既存の組織等との連携で地域内の教育交流を進めます。

### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
地域青少年育成会議等で実施する活動に、多くの地域住民が参加する。 (22年度実績 41,398人)	参加者数を 43,000人以上 にする。	参加者数を 44,000人以上 にする。	参加者数を 45,000人以上 にする。

### 目標を達成するための事業等

- ・青少年健全育成センター運営費（生涯学習推進課）  
育成委員 120 人により街頭啓発活動を実施する。
- ・青少年健全育成センター運営費（青少年健全育成センター）  
地域が主体的にその地域での活動を行うことが、子どもたちの居場所づくりであり、地域青少年育成会議の活動支援を実施する。

## 基本計画 8 生きがいもてる生涯学習環境の整備

### 施策 1 「学習機会の充実と情報提供による自ら学べる仕組みの整備」

#### 目標

様々な現代的な課題に対応するため、大学、NPO、企業等と連携し学習機会の充実を図ります。また、自ら学ぼうとする市民の学習ニーズに応じた情報提供の仕組みを整えます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
教育委員会ポータルサイトに、様々な講座や催し・イベント等を随時掲載し、広く市民に対して情報提供を行う。	市ホームページとリンクし、情報を定期的に更新する。	情報を年 4 回定期的に更新する。	情報を年 4 回定期的に更新する。
大学、NPO、団体、企業が実施する生涯学習活動の情報を教育委員会ポータルサイトに掲載する。 (22 年度 掲載件数未集計 新規)	関係機関・団体の掲載件数の増加数を 40 件にする。	関係機関・団体の掲載件数の増加数を 50 件にする。	関係機関・団体の掲載件数の増加数を 60 件にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・ 謙信公アカデミー推進事業（教育総務課）  
大学生等への奨学金の貸付を行う。
- ・ 奨学金貸付事業（学校教育課）  
経済的に就学が困難な学生・生徒に対して奨学金の貸付を行う。
- ・ 生涯学習推進事業（生涯学習推進課）  
生涯学習情報について、教育委員会ポータルサイトで提供する。

### 施策 2 「学びあう力、教えあう力を育てる場の開発」

#### 目標

意欲的に学べる仕組みをつくとともに、学んだことを生かし、高めあい、伝えあう学習の場の設定を検討します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
公民館事業における受講者アンケートで、受講者同士が学び合い、満足したとする評価が 80%以上ある講座を、調査した講座全体の 80%以上にする。 (22 年度 該当実績なし 新規)	調査した講座全体の 70%以上にする。	調査した講座全体の 80%以上にする。	調査した講座全体の 80%以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・ 公民館事業（公民館）  
すべての地区公民館で、青少年教育、家庭教育、成人教育、まちづくり・自治の 4 分野での講座の実施に取り組む。
- ・ 生涯学習推進事業（生涯学習推進課）  
いきいき県民カレッジの単位取得制度を活用する。  
上越教育大学と共催し、講演会等を実施する。
- ・ 教育プラン事業（生涯学習推進課）  
教育委員会ポータルサイトの運用

### 施策3「青少年の活動の機会と場の開発」

#### 目標

青少年の時期に、ボランティアや多様な体験活動を企画し、豊かな人間性や社会性などを培っていきます。

#### 成果指標

評価内容	平成23年	平成24年度	平成25年度
公民館事業において青少年を対象に、世代間交流などを通じた様々な体験活動を企画・実施する。 (22年度 講座数 50 講座、参加者数 6,195人)	講座数 50 講座・参加者数 6,200人以上にする。	講座数 50 講座・参加者数 6,250人以上にする。	講座数 50 講座・参加者数 6,300人以上にする。

23年度はより一層世代間交流など取り入れて講座内容を充実し、参加者数を維持する。その後は、さらに改善を図りながら参加者数の増加を目指していく。

#### 目標を達成するための事業等

- ・成人式運営事業（生涯学習推進課）  
新成人が郷土への愛着を深めるとともに、成人したことを自覚し、自立しようとする機運を高める。
- ・青少年健全育成センター運営費（青少年健全育成センター・生涯学習推進課・学校教育課）  
地域青少年育成活動を実施する。
- ・公民館事業（公民館）  
世代間交流などの様々な体験活動を実施し、青少年の豊かな人間性を育む。
- ・上越科学館管理運営（生涯学習推進課）  
科学的な知識の習得や科学に親しむ習慣を形成するため、常設展示のほか教室や観察会を開催する。
- ・青少年文化センター自主事業（青少年文化センター）  
小学生を対象としたクラブ活動、小・中学生等を対象とした集い・催し物、発明工夫・模型・工作展を実施する。

### 施策4「身近な施設の有効活用」

#### 目標

身近なところで自由に集まり話し合える場が、団体や地域の活動に欠かせません。施設の管理も含め社会教育施設の有効活用を検討します。

#### 成果指標

評内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
公民館(69施設)・直江津学びの交流館・教育プラザ・生涯学習センター等(21施設)の集会施設の利用を促進する。 (22年度施設利用者数 766,014人)	年間の施設利用者数を831,500人以上にする。	年間の施設利用者数を835,000人以上にする。	年間の施設利用者数を838,500人以上にする。

22年10月に開館した直江津学びの交流館の利用者数を加算していく。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育プラザ管理費（教育総務課）  
施設利用者が安全に安心して利用できる状態を維持する。施設管理に起因した事故を発生させない。
- ・生涯学習施設の管理運営（生涯学習推進課）  
地域生涯学習センター、ユートピアくびき、はーとびあ中郷、浦川原地域文化伝承館、七ヶ地区コミュニティセンター、大潟野外活動施設、清里星のふるさと館、三和ジュニア創作館の管理運営を行う。
- ・公民館管理施設の管理運営（公民館）  
施設利用者が安全に安心して利用できる状態を維持する。

## 施策5「図書を身近に利用できる図書館、読書活動の推進」

### 目標

生涯学習の意欲を高めるため、身近に図書を利用できる環境づくりと読書活動を進めます。

### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
「みんなの本だな」について、情報収集を行いながら設置か所を増やし、身近に読書に親しめる環境づくりを進める。 (22 年度設置か所 100 か所)	110 か所以上に する。	120 か所以上に する。	130 か所以上に する。
月毎のテーマ展示や多面的なPRを行い、図書館情報を広く市民に周知して図書館利用の促進を図り、図書館における市民 1 人当たりの図書貸出数を高める。 (22 年度実績 1 人当たりの図書貸出数 3.7 冊) 1 人当たりの図書貸出数 = 年間貸出数 ÷ 人口	年間 3.8 冊以 上にする。	年間 3.9 冊以 上にする。	年間 4.0 冊以 上にする。

### 目標を達成するための事業等

- ・読書普及・自主活動事業（高田図書館・直江津図書館）  
おはなし会等の開催や自動車文庫の巡回を行うことで、読書活動を盛んにする。
- ・教育プラン推進事業（高田図書館・直江津図書館）  
自由に本を借りることができる「みんなの本だな」運動を通じて、市民の読書意欲を喚起する。
- ・図書充実事業（高田図書館・直江津図書館）  
市民のニーズを取り入れ図書館として必要な資料の収集等を行うことにより、図書館利用の促進を図る。

## 基本計画9 公民館を中心とした社会教育の推進

### 施策1 「身近な公民館で学習機会(社会教育)の提供」

#### 目標

住むところの地域の自然・歴史・文化を学ぶことで、自らの郷土に誇りを持ち、その地域の魅力を発信していくことができるよう、そのための講座の企画・支援に取り組みます。また、地域や社会の課題に対応するために必要な講座を、すべての地区公民館で提供できる仕組みをつくりまします。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
地域の特色を生かした講座や地域課題に対応する講座を開催する。 (22年度 講座数 331 講座 参加者数 42,427人)	講座の開催数を350講座、参加者数を42,600人以上にする。	講座の開催数を350講座、参加者数を42,800人以上にする。	講座の開催数を350講座、参加者数を43,000人以上にする。

地域に密着した講座内容になるように工夫と改善を図り、参加者数を少しでも多く増やす努力をする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・女性サポートセンター事業(公民館)  
講座を通して男女共同参画に向けた意識づくりを行う。
- ・公民館事業(公民館)  
青少年教育、家庭教育、成人教育、まちづくり・自治の4分野において、すべての地区公民館で講座実施に取り組む。

### 施策2 「生涯学習の情報提供と相談」

#### 目標

地域で何かを学ぼうとするとき、そのことについての情報が不可欠です。気軽に学び、相談ができる体制に努め、市内で行われている公民館講座の情報の共有化を図ります。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
生涯学習サークル・団体や指導者などの情報掲載件数を増やす。 (22年度実績 サークル・団体 413件、指導者数 209件)	サークル・団体を430件、指導者数を230件以上にする。	サークル・団体を440件、指導者数を240件以上にする。	サークル・団体を450件、指導者数を250件以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・生涯学習推進事業(生涯学習推進課)  
生涯学習情報を教育委員会ポータルサイトで提供するとともに、市民からの相談に対しアドバイスを行う。
- ・学習情報の提供や相談(公民館)  
公民館職員や公民館協力員が講座の情報提供や学習相談を行う。

### 施策3 「団体やボランティア、指導者の育成」

#### 目標

各種講座を、市民自らが主体となって企画・実施できるよう、団体やボランティア育成支援を行います。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
地域青少年育成会議が実施する事業において、中学生が企画段階から参画する育成会議数を 22 にする。 (22 年度 10 育成会議)	中学生が企画段階から参画する育成会議数を 15 にする。	中学生が企画段階から参画する育成会議数を 18 にする。	中学生が企画段階から参画する育成会議数を 22 にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・社会教育指導員設置事業（生涯学習推進課）  
社会教育の分野についての指導、学習相談、団体育成を行う。
- ・青少年教育活動事業（生涯学習推進課）  
上越市子ども会連合会、上越市小中学校 PTA 連絡協議会の活動事業費を補助する。
- ・青少年教育活動事業（生涯学習推進課）  
若者世代の地域事業への参画や即戦力となる人材を育成していく。  
地域青少年育成会議の活動に中学生が企画段階から参画することにより、将来、市民として主体的に活動できるようにする。
- ・公民館事業（公民館）  
青少年教育、家庭教育、成人教育、まちづくり・自治の 4 分野において、すべての地区公民館で講座実施に取り組む。

## 基本計画 10 豊かな地域文化の振興への支援

### 施策 1 「感動に溢れる文化・芸術活動の支援」

#### 目標

音楽や舞踊など文化・芸術活動の全市的な発表の場や地域間交流を促進するための情報交換や交流活動への支援を行います。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
全市的な発表の場として、市展・県展・市民芸能祭・大島音楽祭の入場者数を増やす。 (22 年度実績 10,203 人)	広報等を利用し入場者数を 11,000 人以上にする。	広報等を利用し入場者数を 11,400 人以上とする。	広報等を利用し入場者数を 11,700 人以上とする。

これまで複数会場で展覧会を実施していたときに、入場者数をそれぞれで集計していたことから、実数より多い入場者数となっていた。そこで、会場を一つにすることでより正確な入場者数にするとともに、さらに多くの市民がかかわるように努める。

#### 目標を達成するための事業等

- ・学校教育総務費（学校教育課）  
小中学校合同音楽祭、中学校スポーツ大会を実施し、児童・生徒の交流促進と一体感の醸成を図る。
- ・小学校教育援助費（学校教育課）  
小学生のスポーツや文化活動、課外活動を支援する。
- ・中学校教育援助費（学校教育課）  
中学生のスポーツや文化活動、課外活動を支援する。
- ・生涯学習推進事業（生涯学習推進課）  
新潟県美術展覧会を開催する。
- ・生涯学習推進事業（生涯学習推進課）  
上越市民芸能祭を開催する。
- ・美術展覧会事業（生涯学習推進課）  
上越市美術展覧会を開催する。
- ・文化・スポーツ振興基金事業（生涯学習推進課）  
文化及びスポーツの自主的な活動や全国大会、国際大会に出場する団体・個人に対し補助金、報奨金を交付する。
- ・大島区生涯学習推進事業（生涯学習推進課）  
音楽協会に補助金を交付し、音楽愛好者のネットワークの拡大とともに合唱団・合奏団の自立を促進する。

### 施策 2 「文化財の保存と活用のネットワーク化」

#### 目標

県内最多を誇る指定文化財の保存と活用を図るとともに、未指定の文化財の発掘に努めます。また、文化財情報のネットワークの構築を目指し、提供に努めます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
県内最多である 354 件の国県市の指定文化財のうち、市指定文化財の件数を 319 件に増やす。 (22 年度実績 310 件)	313 件にする。	316 件にする。	319 件にする。

年 3 回開催する文化財調査審議会の中で、市が定義している文化財 3 類型(有形文化財、民俗資料、記念物)の均衡を図るため、新たに 3 件ずつ指定することを目指す。

#### 目標を達成するための事業等

- ・文化財保存整備費（生涯学習推進課）  
文化財調査審議会の開催、市文化財等の適切な維持管理及び活用、市無形民俗文化財を保存伝承する。



- ・春日山城跡保存管理事業（生涯学習推進課）  
春日山城跡、春日山城史跡広場、春日山城跡ものがたり館、大手道等の適切な維持管理を行う。
- ・市内遺跡等発掘調査事業（生涯学習推進課）  
各種開発行為やほ場整備などの施工区域における文化財を保存・保護するため、遺跡の試掘・確認調査を実施し、調査成果を記録保存する。
- ・春日山城跡5か年整備事業（生涯学習推進課）  
平成20年度に改定した春日山城跡保存管理計画に基づき、春日山城跡の土砂崩落防止工事等、史跡整備と活用を行う。
- ・埋蔵文化財センター管理運営費（生涯学習推進課）  
施設の維持管理を行うとともに、施設利用学習、体験学習の促進を行う。
- ・「弥生のムラ」コミュニティパーク事業（生涯学習推進課）  
吹上・釜蓋遺跡保存活用計画に基づき、維持管理、用地購入、遺跡公園整備に向けた活用事業を実施する。

### 施策3 「ふるさと上越を大切にす教育の推進」

#### 目標

上越の自然、歴史、文化、伝統、産業、人材などの教育環境を生かし、ふるさと上越に根づいた教育活動を推進します。また、学校教育から発展させた学習の場を、全市の学習施設や団体が受け止め、横断的・連続的な教育活動として展開するようにします。

#### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
謙信 KIDS スクールプロジェクト事業の参加者の満足度を95%以上にする。 (22年度実績 92.9%)	満足度を95%以上にする。	満足度を95%以上にする。	満足度を95%以上にする。
「ふるさと学習」の趣旨を生かした指導計画を学校ごとに作成し実践する。 (22年度 実践している学校の割合 93% 71校)	すべての学校が計画を作り実践する。	すべての学校が計画を作り実践する。	すべての学校が計画を作り実践する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・増村朴斎記念館管理運営費（生涯学習推進課）  
増村朴斎先生の書や遺品などを展示し、建学精神を伝える施設として管理運営を行う。
- ・上越カリキュラム（学校教育課）  
上越カリキュラムの実践例を参考にした「ふるさと学習」への取組を推進する。
- ・謙信 KIDS スクールプロジェクト事業（生涯学習推進課）  
多様な自然、長い歴史や文化など豊富な地域資源を活用し、様々な体験活動を入りに、子どもたちの好奇心を刺激し知的探究活動を進め、心豊かでたくましいふるさと上越を語る事ができる子どもたちの育成を図る。
- ・小林古径記念美術館管理運営費（小林古径記念美術館）  
小林古径作品の鑑賞機会を拡大することによって、興味・関心の喚起とともに、芸術性理解の高揚を図っていく。
- ・青少年文化センター自主事業（青少年文化センター）  
地元の企業や大学などの講師を迎え、小学生を対象としたクラブ活動、小・中学生等を対象とした集い・催し物、発明工夫・模型・工作展を実施する。

#### 施策4 「魅力ある博物館・美術館のための企画や展示の工夫」

##### 目標

市民が上越地域の歴史、民俗、芸術などにふれる機会を提供し、新しいことを発見できる学習の場、気軽に学べる場としての博物館、美術館にします。また、ボランティアや友の会など、多くの人が集まり、コミュニケーションの拠点となるような施設とします。

##### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
各館の実情を踏まえ、特色ある事業やイベント等の開催を通して、入館者数を増やす。 (22 年度実績 入館者数 285,722 人)	年間入館者数を 290,000 人以上にする。	年間入館者数を 300,000 人以上にする。	年間入館者数を 310,000 人以上にする。
すべての館における入館者の満足度を 80% 以上にする (アンケート調査による)。 (22 年度実績 満足度 総合博物館 78% 小林古径記念美術館 81% など)	すべての館で満足度を 80% 以上にする。	すべての館で満足度を 80% 以上にする。	すべての館で満足度を 80% 以上にする。

展示内容や P R 方法、友の会などとの連携等における工夫や改善により、内容の充実とともに入館者数の増加に努める。

##### 目標を達成するための事業等

- ・上越清里星のふるさと館管理運営事業（生涯学習推進課）  
天体観測や宇宙・天文、隕石に関する資料のわかりやすい展示を行うとともに、ホームページでの星座など宇宙に関するタイムリーな情報を更新し、特別展のほか様々なイベントを開催する。
- ・かやぶき美術館管理運営費（生涯学習推進課）  
かやぶき民家を題材にした絵画、民芸模型を展示した施設の管理運営を行う。
- ・上越科学館管理運営事業（生涯学習推進課）  
特別展や 20 種類以上の各種体験講座、出前講座を実施し、科学的な知識の普及や科学に親しむ習慣の形成に寄与する。
- ・総合博物館管理運営事業（総合博物館）  
収蔵している歴史・民俗・美術資料等を中心に、来館者の興味や関心がわくよう工夫した展示を年 4 回開催する。
- ・民俗資料整理事業（総合博物館）  
民俗資料を統一的に整理・調査し、資料台帳の作成及びデータベース化を図る。
- ・歴史民俗資料館管理運営事業（総合博物館）  
牧、板倉、清里各館の歴史民俗資料の特色を活かした展示を行う。
- ・市民アートギャラリー管理運営（総合博物館）  
市民の創作活動の発表の場としてギャラリーを提供する。
- ・小林古径記念美術館管理運営事業（小林古径記念美術館）  
所蔵する小林古径作品や資料をテーマ性のある企画展やコレクション展として年 4 回開催するとともに、来館者にとって興味・関心のあるイベントや美術館普及事業を実施する。
- ・小林古径邸管理運営事業（小林古径記念美術館）  
国の登録有形文化財であり、小林古径の居宅である小林古径邸を適正に管理・公開するとともに、施設の有効利用を図る。
- ・水族博物館管理運営事業（水族博物館）  
水生生物の展示を通して、生物の多様性と自然環境保全等への理解を深めてもらうとともに、多くの人が集まる賑わい拠点を維持するよう事業を実施する。

## 基本計画 1 1 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

### 施策 1 「スポーツに対する意識の啓発」

#### 目標

さまざまな機会を通じて、健康の保持や身体活動の必要性の情報提供を行うように努めます。

また、気軽に参加できるスポーツ教室やイベントでスポーツの楽しさを感じる機会を充実させます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
体力測定会の参加者を増やす。 (22 年度実績 参加者数 295 人)	参加者を 350 人以上にする。	参加者を 420 人以上にする。	参加者を 500 人以上にする。
スポーツイベントへの参加率を上げる。 参加率 = 年間イベント参加者 ÷ 人口 (22 年度実績 25.5%)	参加率を 27% 以上にする。	参加率を 29% 以上にする。	参加率を 31% 以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・いきいきスポーツ都市宣言（体育課）  
宣言を契機として、スポーツが持つ意義や効果がすべての市民の間に浸透し、一人でも多くの市民がスポーツに接したり、参加したりできる機会を増やすよう推進する。
- ・スポーツ振興審議会（体育課）  
多様化するスポーツニーズに対応した、幅広いスポーツ・レクリエーション活動が活発に行われるよう、当市のスポーツ振興策について調査・審議を行う。
- ・体育指導委員（体育課）  
生涯スポーツの推進役として、体育指導委員が、地域におけるスポーツ振興のための企画・立案・コーディネーターとしての役割を果たし、一人でも多くの市民が生涯スポーツを実践することができる環境を整える。
- ・スポーツアドバイザー事業（体育課）  
当市にゆかりのある優秀な選手、指導者との交流を通して、市民のスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力の向上を図る。
- ・スポーツボランティア登録制度（体育課）  
スポーツイベントの運営補助や実技指導の補助等に協力いただくボランティアを募り、市民参加型のイベント等を通じてスポーツ活動への参画を促進する。
- ・子どもの体力づくり教室と指導者養成研修会の開催（体育課）  
幼少期からの運動習慣を形成するため、指導者養成研修会の実施及び、その指導者を活用した体力づくり教室を開催し、幼児や児童、親子の運動の機会の提供と運動習慣の定着を図る。
- ・各種スポーツ教室・大会等の開催（体育課）  
各種の教室や大会を開催し、青少年の体力の増進と運動習慣の定着を図る。成人一般に対してはニュースポーツを中心に、手軽に参加しやすい教室や大会を開催し、スポーツに接する機会を増やし、スポーツ実践の習慣化を促す。
- ・総合型地域スポーツクラブの育成（体育課）  
地域に根差したスポーツ活動を通じて、地域の住民が主体となって生涯スポーツを実践するスポーツクラブの育成とクラブ相互の情報交換、運営研究を支援する。
- ・ニュースポーツ教室と市民エクササイズの普及並びに体力測定会の開催（体育課）  
体育指導委員がコーディネーターとしての役割を果たし、市民が気軽に身体を動かす機会と場を提供し、運動習慣の形成を促す。

## 施策2 「コミュニティスポーツの充実・発展」

### 目標

子どもから高齢者まですべての人が、それぞれの生活圏でスポーツ活動に参加できるように、総合型地域スポーツクラブの育成を支援するとともに指導者、運営管理ができる人の育成を図ります。また、既存の組織活動がより活発になるよう働きかけます。

### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
総合型地域スポーツクラブの設立数を増やす。 (22 年度末 13 クラブ)	年度末でのクラブ数を 13 クラブにする。	年度末でのクラブ数を 14 クラブにする。	年度末でのクラブ数を 15 クラブにする。
ニュースポーツ及び市民エクササイズの講習会の年間参加者数を 12,000 人以上にする。 (22 年度実績 11,694 人)	年間参加者数を 12,000 人以上にする。	年間参加者数を 12,000 人以上にする。	年間参加者数を 12,000 人以上にする。

### 目標を達成するための事業等

- ・ 体育指導委員（体育課）  
生涯スポーツの推進役として、体育指導委員が、地域におけるスポーツ振興のための企画・立案・コーディネーターとしての役割を果たし、一人でも多くの市民が生涯スポーツを実践することができる環境を整える。
- ・ 子どもの体力づくり教室と指導者養成研修会の開催（体育課）  
幼少期からの運動習慣を形成するため、指導者養成研修会の実施及び、その指導者を活用した体力づくり教室を開催し、幼児や児童、親子の運動の機会の提供と運動習慣の定着を図る。
- ・ 各種スポーツ教室・大会等の開催（体育課）  
各種の教室や大会を開催し、青少年の体力の増進と運動習慣の定着を図る。成人一般に対してはニュースポーツを中心に、手軽に参加しやすい教室や大会を開催し、スポーツに接する機会を増やし、スポーツ実践の習慣化を促す。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの育成（体育課）  
地域に根差したスポーツ活動を通じて、地域の住民が主体となって生涯スポーツを実践するスポーツクラブの育成とクラブ相互の情報交換、運営研究を支援する。
- ・ ニュースポーツ教室と市民エクササイズの普及並びに体力測定会の開催（体育課）  
体育指導委員がコーディネーターとしての役割を果たし、市民が気軽に身体を動かす機会と場を提供し、運動習慣の形成を促す。

### 施策3 「競技スポーツの充実・発展」

#### 目標

オリンピックに出場するなどトップレベル選手の輩出は市の誇りとなります。スポーツ団体が主体となり、合同練習を行うなど優れた選手の育成に努めます。また、指導者間の連携をとり指導体制を強化するとともに指導者の育成を行います。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
上越市出身（ゆかりを含む）の国体出場選手数を 35 人以上にする。 （20 年度実績 34 人、新潟県で国体のあった 21 年度実績 66 人、22 年度実績 43 人）	35 人以上にする。	35 人以上にする。	35 人以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・スポーツアドバイザー事業（体育課）  
当市にゆかりのある優秀な選手、指導者との交流を通して、市民のスポーツへの関心を高め、健康づくりや競技力の向上を図る。
- ・少年スポーツ育成事業や育成団体への補助（体育課）  
ジュニアの育成強化を図るため、特色ある多種多様なスポーツ事業と団体の自主活動を支援し、競技力向上と指導者の育成を進める。
- ・子どもの体力づくり教室と指導者養成研修会の開催（体育課）  
幼少期からの運動習慣を形成するため、指導者養成研修会の実施及び、その指導者を活用した体力づくり教室を開催し、幼児や児童、親子の運動の機会の提供と運動習慣の定着を図る。
- ・各種補助事業・一般スポーツ活動推進事業（体育課）  
各種スポーツ大会等を補助することで、スポーツアスリートの育成強化と指導者の発掘、育成を図る。
- ・スポーツ活動サポート事業（体育課）  
小・中学校の体育授業や部活動、地域のスポーツ活動において、専門的な技術指導を必要とする場合に外部指導者を派遣し、競技力の向上と地域社会と連携した活動を推進する。

### 施策4 「施設の充実と利用の増大」

#### 目標

身近な施設を有効活用したり、自然環境を生かしたりして、スポーツ環境を充実させるとともに、利用しやすいシステムづくりに努めます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
市民のスポーツにふれる機会を増やすため、人口 1 人当たりの年間スポーツ施設利用回数を増やす。 （22 年度実績 4.26 回/人）	4.35 回/人以上にする。	4.44 回/人以上にする。	4.53 回/人以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・学校体育施設開放事業（体育課）  
市民の健康・体力づくりの向上を目的に、スポーツ及び社会教育活動を振興し、その継続的な活動を促進するため、小中学校の体育館・グラウンド等体育施設を開放する。
- ・体育施設整備事業（体育課）  
体育施設設備の充実を図り、あらゆる市民が活用できるよう計画的に整備を進める。
- ・体育施設管理運営費（体育課）  
経年劣化した施設の環境整備と適正な維持管理により、安全で快適な利用ができるよう施設管理を行う。また、指定管理による施設の管理運営を行い、施設利用のサービス向上を図る。

## 基本計画 1 2 安全で安心な教育環境の整備

### 施策 1 「地域と連携した子どもの安全確保対策の推進」

#### 目標

安全対策に終わりはありません。常に、見直しと改善をし続ける必要があります。校区内で、子どもたちが安心して通学したり、遊んだりできるような安全対策を、市及び市民等の連携で推進していきます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
子どもたちの通学の安全を確保するため、すべての小学校で安全マップの作成や点検を P T A、地域住民と協働で実施する。 (22 年度 すべての小学校で取り組んだ)	すべての小学校で実施する。	すべての小学校で実施する。	すべての小学校で実施する。
青少年健全育成委員の街頭指導による愛の一声運動の実施により非行の未然防止、抑止力とする。 (22 年度実績 声かけ回数 899 回)	声かけ回数を 1,000 回以上にする。	声かけ回数を 1,000 回以上にする。	声かけ回数を 1,000 回以上にする。
青少年にとって好ましくない有害図書類自販売機の設置台数を減らす。 (22 年度末 8 か所 24 台)	7 か所 21 台にする。	地権者の理解を得ながら減らす。	地権者の理解を得ながら減らす。

#### 目標を達成するための事業等

- ・ 小学校通学援助費（学校教育課）  
遠距離通学生徒の通学費の援助により、保護者の負担軽減を図る。
- ・ 中学校通学援助費（学校教育課）  
遠距離通学生徒の通学費を援助する。
- ・ スクールバス等運行事業（学校教育課）  
公共交通機関の利用が困難な遠距離通学する児童生徒の通学のため、スクールバスを運行する。
- ・ 学校安全推進事業（学校教育課）  
学校安全ボランティアの育成を図るとともに、児童生徒の登下校の安全を確保する。
- ・ 通学路安全確保対策事業（学校教育課）  
登下校の安全を図るために通学路の改善に取り組む
- ・ 街頭指導活動（青少年健全育成センター）  
育成委員 120 人の「愛の一声」運動で非行防止を図る。  
一日街頭指導活動による P T A への啓発を行なう。
- ・ 環境浄化活動（青少年健全育成センター）  
青少年にとって好ましくない有害図書類自動販売機の立入調査指導

## 施策2 「安全な学校施設の整備」

### 目標

不審者の侵入を防ぐだけでなく、自然災害や施設における事故に対しても十分に安全を配慮した整備と点検を進めます。

### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
安全、安心を確保するため、耐震診断、耐震補強設計、補強工事を実施し、耐震化率を向上させる。 (22 年度末 耐震化率 75.8%)	年度末の耐震化率を 82.4% にする。	年度末の耐震化率を 88.8% にする。	年度末の耐震化率を 94.2% にする。
すべての幼・小・中学校のオートロックの整備を行う。 (22 年度末 オートロック未整備 2 園・8 校)	全校・園でオートロックを完備する。		

### 目標を達成するための事業等

- ・小・中学校施設管理費（教育総務課）  
施設の維持管理を行う。
- ・小・中学校市単独事業（教育総務課）  
経年劣化する施設・設備を整備する。
- ・小・中学校耐震補強事業（教育総務課）  
校舎等の耐震診断、耐震補強設計、工事等を実施する。
- ・小・中学校大規模改造事業（教育総務課）  
老朽建物の大規模改造工事、設計を実施する。

### 学校施設の耐震化計画

計画期間：平成 20 年度～平成 27 年度

計画目標：平成 27 年度までに耐震化率 100%

## 施策3 「安全を意識した教育の推進」

### 目標

子どもたちが安全に対して意識を高め、発達段階に応じて自分の身は自分で守ることができるような安全教育を実施します。

### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
交通事故（平均 27.7 件）、負傷事故（平均 18.7 件）、不審者事案（平均 26 件）の発生が減少する。	過去 3 年間の平均発生件数より減少する。	過去 3 年間の平均発生件数より減少する。	過去 3 年間の平均発生件数より減少する。

### 目標を達成するための事業等

- ・学校安全体制整備事業（学校教育課）  
学校安全ボランティア養成講習会を開催するとともに、地域での安全ボランティア活動を活性化させる。  
また、児童生徒の危険回避能力を高めるとともに地域と密着した学校安全を推進するほか、地震や津波などの自然災害を想定した避難訓練等を通して、防災教育を推進する。

### 基本計画 1 3 バランスのとれた教育行政の推進

#### 施策 1 「学校、家庭、地域がスクラムを組む教育活動の支援」

##### 目標

学校、家庭、地域が一体になり、共に支え合って教育活動ができるような地域での仕組みづくりを支援します。

##### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
すべての学校が、学校運営協議会を生かしながら学校運営を行う。	一部の小・中学校で、学校運営協議会を作り、試行的に取り組み、研究する。	地域の意見や支援が学校運営に生きる学校運営協議会をすべての学校に設置する。	すべての学校が、新たな組織を生かしながら学校運営を行う。

##### 目標を達成するための事業等

- ・教育プラン推進事業（生涯学習推進課）  
教育委員会ポータルサイトの活用
- ・青少年健全育成センター運営費（生涯学習推進課・青少年健全育成センター）  
各育成会議との懇談会、研修会を実施する。
- ・青少年教育活動事業（生涯学習推進課）  
地域版教育ハンドブックの作成を支援する。

#### 施策 2 「開かれた教育委員会の推進」

##### 目標

教育委員と旧町村の前教育委員長等の懇談会の機能を継承発展し、関係機関との懇談や学校等関係施設の訪問などを行い、開かれた教育委員会づくりに積極的に取り組みます。

##### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4 年間で一巡するよう計画的に学校訪問を実施し、市内各校の実態を掌握する。（学校訪問、年 3 回実施）	18 校を訪問する。	18 校を訪問する。	18 校を訪問する。
教育に係る課題や問題などについて、地域、学校、行政が一体となって課題を解決するため、教育委員と地域青少年育成会議代表者等との意見交換を行う。 (22 年度実績 1 回)	年 2 回開催する。	年 2 回開催する。	年 2 回開催する。

##### 目標を達成するための事業等

- ・教育委員会費（教育総務課）  
教育委員学校訪問を実施する。
- ・教育委員会事務費（教育総務課）  
教育懇談会を実施する。
- ・社会教育委員会議（生涯学習推進課）  
教育委員会の諮問を受けて、上越市の社会教育の在り方を協議する。



### 施策3 「上越カリキュラムの作成」

#### 目標

地方分権と規制緩和の流れの中で、教育課程上の自由度が広がり、特色ある学校づくりが求められるようになってきました。上越に適した確かな学校教育を展開していくために、上越らしさのあるカリキュラム開発を行います。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24年度	平成 25 年度
すべての学校が「上越カリキュラム」に基づき、地域や学校の実態を生かした教育活動を組織し推進するための視覚的カリキュラム表を作成し、実践を進める。 (22 年度実績 全ての学校が作成、実践)	すべての学校が作成し、実践する。	すべての学校が作成し、実践する。	すべての学校が作成し、実践する。

学校課題の解決のために、地域の特色を生かした特色ある学校づくりを進めるために、カリキュラムの改善を継続して進める。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問（学校教育課）

学校訪問により上越カリキュラムに基づく、地域や学校の特色を生かした教育の推進や改善が行われるように指導・助言する。

### 施策4 「教育センターの機能の整備と拡充」

#### 目標

学校教育を支えるカリキュラムセンターとしての機能を持つとともに教員研修、教育相談、科学教育、情報教育を支える総合教育センターを目指して機能を充実させます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24年度	平成 25 年度
各学校のグランドデザインや視覚的カリキュラム表、実践事例を収集し、「カリキュラム開発コーナー」を設置して、情報提供する。	コーナーを開設する。	実践事例等の情報を更新する。	実践事例等の情報を更新する。
教育相談について、機動的な相談体制を整備して、相談者に寄り添う相談活動で問題の軽減・解決を図る。 (22 年度実績 84.2%)	学校や相談者の満足度を 90% 以上にする。	学校や相談者の満足度を 90% 以上にする。	学校や相談者の満足度を 90% 以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・情報提供事業（教育センター）

学校訪問で得た優れた授業実践、スーパーティーチャーの授業、職員研修で得た有益な情報を、書架等に整理し閲覧できるようにする。また、教育委員会ポータルサイト等で閲覧できるようにする。

- ・教育相談事業（教育センター）

学校訪問カウンセラーと新設した「じょうえつ あんしん サポートチーム（JAST）」との情報共有を図り、各学校の生徒指導上の問題に組織的に対応し、迅速な問題解決を支援する。

## 施策5 「情報教育の充実と教育ネットワーク環境の整備」

### 目標

地域教材、生涯学習などの教育情報データベースの整備やeラーニングシステムを構築し、広域をカバーするICT教育を推進するとともに校務の情報化を進めます。

### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校において必要な情報を入手できたり、自己研修ができたりする教育情報環境を整備する。	自作教材や学習資料を共有したり、互いに改善したりできるシステムを構築する。	学校にいながら、研修資料や教材の配信を受け、自己研修ができるシステムを構築する。	授業、教材研究、指導の準備、評価、校務などにICTを活用できる教員を90%以上にする。

### 目標を達成するための事業等

- ・学校教育総務費（学校教育課）
  - 小・中学校の教職員用に校務用コンピュータを整備し、情報セキュリティの向上、校務の効率化を図る。
- ・小学校教育用コンピュータ設置事業（学校教育課）
  - 教育用コンピュータと教育ネットワークの整備と維持を図り、学校教育環境の充実を図る。
- ・中学校教育用コンピュータ設置事業（学校教育課）
  - 教育用コンピュータと教育ネットワークの整備と維持を図り、学校教育環境の充実を図る。
- ・小・中学校学校提案活動支援事業（学校教育課）
  - 提案企画書に基づく特色ある学校づくりに向けての取組を支援する。
- ・社会教育推進費（生涯学習推進課）
  - 上越地区広域視聴覚協議会に対し、負担金を支出する。23年度以降、協議会の廃止を含め運営方法の見直しを進める。

## 施策6 「教育委員会事務局、教育機関の連携」

### 目標

市民にとって分かりやすく、効率よい組織の構築を目指します。

### 成果指標

評価内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度
生涯学習推進のため関連する組織の見直しを図り、分かりやすい機動力ある組織の改編を図る。	組織の見直しをする。	組織の改善をする。	組織内の調整をする。

### 目標を達成するための事業等

- ・教育委員会事務費（教育総務課）
  - 教育委員会の事務局を運営する。
- ・教育プランの推進（教育総務課・生涯学習推進課）
  - 教育委員会ポータルサイトを改善し運用する。

## 基本計画 1 4 特色ある学校教育の支援

### 施策 1 「地域の特色を生かした学校の主体的な教育活動の支援」

#### 目標

地域に誇りをもち、地域の特色を生かして、学校が主体的に教育活動を展開できるよう支援します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
上越市学校教育実践上の重点の評価において、すべての学校で地域や学校の実態を生かし、自校の課題解決や特色ある活動を行うことができたと回答する。 (22 年度実績 93%)	課題解決や特色ある活動ができたと回答する学校を 95% (73 校) 以上にする。	すべての学校で課題解決や特色ある活動ができる。	すべての学校で課題解決や特色ある活動ができる。

#### 目標を達成するための事業等

- ・指導主事訪問（学校教育課）  
「上越市学校教育実践上の重点」に基づいた学校訪問指導を行う。
- ・小・中学校学校改善支援事業（学校教育課）  
学校改善支援事業により、各学校が主体的に課題解決や特色づくりに取り組めるように支援する。
- ・青少年育成事業（学校教育課）  
地域の特色を生かし、各学校が主体的に自校の課題解決を通して特色ある学校づくりをする取組を推進する。

### 施策 2 「校種間の連携の推進」

#### 目標

幼児期から小・中学校そして高等学校での教育へと子どもの成長に応じた長期的視点での交流、連携を推進します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
「中 1 ギャップ解消プログラム」を各中学校区の実態に応じて自校化し、改善を図る。 (平成 22 年度実績 100%)	全中学校区で、実践を通し、見直しや改善を図る。	全中学校区で、実践を通し、見直しや改善を図る。	全中学校区で、実践を通し、見直しや改善を図る。
「小 1 プロブレム」の解消に向け、小学校、幼稚園・保育園との連携を図る。 (平成 22 年度 該当実績なし 新規)	幼稚園、保育園との情報交換を年 2 回以上行う学校を 80% (44 校) 以上にする。	幼稚園、保育園との情報交換を年 2 回以上行う学校を 90% (49 校) 以上にする。	すべての小学校で、幼稚園、保育園との情報交換を年 2 回以上行う。

#### 目標を達成するための事業等

- ・幼小連携推進事業（学校教育課）  
幼稚園及び保育園と小学校が計画的な交流活動を推進する。
- ・小中連携推進事業（学校教育課）  
中学校区での課題を踏まえ、ねらいや内容、方法、担当者等を明確にした小・中学校連携による教育活動を推進する。
- ・中高連携推進事業（学校教育課）  
中学校と高等学校が、進路学習やキャリア教育において連携を図る。

### 施策3 「学校の教育活動の積極的な広報活動」

#### 目標

学校の教育活動や教育内容を正しく伝えることは、学校教育への信頼感を高め、市民の教育活動への参加意欲を高めます。学校の教育活動が分かりやすく示されるような広報活動を支援します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
上越市学校教育支援システムの「おたよりシステム」を活用し、各学校が Web サイトによって教育活動や教育内容を週 1 回以上、保護者・地域に発信する。 (22 年度実績 57% 43 校)	週 1 回以上発信した学校を 70% (54 校) 以上にする。	週 1 回以上発信した学校を 80% (61 校) 以上にする。	週 1 回以上発信した学校を 90% (69 校) 以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育用コンピュータ設置事業（学校教育課）  
教育用コンピュータと教育ネットワークの整備と維持を図り、学校教育環境の充実を図る。
- ・小学校学習支援事業（学校教育課）  
学習情報指導員による、職員研修支援を行い、上越市学校教育支援システムの「おたよりシステム」を活用できる教職員の増加を図る。

## 基本計画 1 5 教育関係職員の力量形成のための支援体制の整備

### 施策 1 「教育課題に応じた教員研修の推進」

#### 目標

時代の推移とともに次々と新しい教育課題が生まれます。学校現場の要求に応じた研修支援体制を整備します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
理科学年別研修、職種・課題別研修、授業力向上研修及び学校力向上研修の参加者が、研修内容について満足したと回答する。(参加者へのアンケート評価) (22 年度実績 満足したとの回答 100%) * 抽出調査による	すべての参加者が研修内容について満足したと回答する。	すべての参加者が研修内容について満足したと回答する。	すべての参加者が研修内容について満足したと回答する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・教育委員会事務費（教育総務課）  
各学校や上部団体が行う研修についての負担金・補助金を交付する。
- ・教育研究事業（学校教育課・教育センター）  
理科指導の充実を図るため、教材研究、指導法の研修を行うとともに機材の貸し出し、理科情報の提供を行う。
- ・教育研究事業（学校教育課・教育センター）  
教育現場のニーズや学校・教職員の教育課題に対応した研修体制を整備し、職種・課題別研修、授業力向上研修、学校力向上研修など体系的な職員研修の充実を図る。
- ・教育研究事業（学校教育課・教育センター）  
教職員の指導力の向上を図るため、情報教育の基礎研修及び情報セキュリティー・モラルの研修、支援システム研修の推進を図る。
- ・教育相談事業（学校教育課・教育センター）  
学校訪問カウンセラーによる教育相談、電話相談の実施、不登校児童生徒適応指導教室、カウンセリング研修会の開催
- ・教育センター管理運営費（学校教育課・教育センター）  
運営委員会の開催、教育センター機能の円滑な推進のための各種対応を行う。

### 施策 2 「社会教育主事の配置の検討と研修体制の整備」

#### 目標

社会教育分野においては社会教育主事の配置を検討するとともに社会教育に関わる者の研修体制を整えます。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
関係各課と 13 区分室の職員を対象として、社会教育の推進に関する研修会を、年 6 回以上開催する。 (22 年度 該当実績なし 新規)	年 6 回以上開催する。	年 6 回以上開催する。	年 6 回以上開催する。

#### 目標を達成するための事業等

- ・関係職員研修の実施（生涯学習推進課）  
各課分室の社会教育主事有資格者の実態把握と現状分析を行う。

### 施策3 「教員相互の情報共有の場の整備」

#### 目標

小規模校が増加し、中学校では教科部体制がとれないなど教員が相互に相談をする場がなくなっています。教職員が孤立し、無力感を感じないようにインターネットなどを利用し、教員相互の情報共有の場を設け、連携の中で自己研修ができるような支援体制を整備します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
教員間の連携・協力を密にするため、教育委員会ポータルサイト及び上越市教育支援システムを活用して、必要な情報の交換・共有化を図ることについて、「できる」「ややできる」と回答する教員が90%以上いる学校にする。 (22年度実績 34校)	評価内容を達成した学校を50校以上にする。	評価内容を達成した学校を60校以上にする。	評価内容を達成した学校を70校以上にする。

#### 目標を達成するための事業等

- ・総合教育プランの推進（教育総務課・生涯学習推進課・連携プロジェクト）  
教育委員会ポータルサイトの活用を図る。
- ・教員用コンピュータ整備（学校教育課）
- ・事務職員用コンピュータ整備（教育総務課）

### 施策4 「力量形成を促す教員評価の工夫」

#### 目標

学習指導や生徒指導、児童や生徒とのかかわり方などを自己評価したり、第三者の目から評価し、自己の教師としてのあり方を見つめたりすることは教師として成長する上で重要です。これらの評価でとらえた教師の優れた実践に学び交流するための体制を整備します。

#### 成果指標

評価内容	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
すべての学校で、自校の教員評価システムの改善が教員としての力量アップにつながったと考える。 (22年度 該当実績なし 新規)	年度末の学校教育実践上の重点の評価において、「教員評価システムが、教員の力量形成に役立った」と答える学校を80%（61校）以上にする。	年度末の学校教育実践上の重点の評価において、「教員評価システムが、教員の力量形成に役立った」と答える学校を90%（69校）以上にする。	すべての学校が、年度末の学校教育実践上の重点の評価において、「教員評価システムが、教員の力量形成に役立った」と答える。

#### 目標を達成するための事業等

- ・管理職対象の教員評価の充実（学校教育課）  
学校課題の解決に結びつく具体的な自己目標や対策等の立て方を指導するとともに、学校訪問をとおした校長面談を実施し、学校経営を支援する。  
上記は、自校で教職員が作成する自己申告シートや面談の質の向上へ結びつく。
- ・スーパーティーチャーの授業参観の体制整備（教育センター）  
優れた実践が評価されているスーパーティーチャーを市で選出し、その授業を公開することで、優れた実践に学び交流する場をつくり、教員の指導力の向上を図る。